








安全上のご注意！

この度はMarkbass アンプをお買い上げいただき有難うございました。

使用開始前に、安全のため下記の説明を良くお読み下さい。
お読みになった後は、必ず保存しておいて下さい。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、下記の指示を必ず守って下さい。
本書では危険や損害の程度を次の区分で表示し、説明しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
 注意	この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

本書で使用する絵表示は、次のような意味です。

	警告・注意を促す内容があることをお知らせするものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
	禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。



製品に記されているすべての注意書きに従って下さい。
長期間使用しないときは必ず電源を抜いて下さい。延長コードをご使用になる場合は必ず容量に見合ったものをご使用下さい。
電源コードは手荒に扱わないで下さい。定期的に断線していないか、あるいはその兆候がないかチェックして下さい。特に両端のモールドの部分に振れがないか注意してください。
電源コードの上には何も置かないで下さい。通路にはコードがかからないように設置して下さい。



注意

キャビネット内の空間、裏面や底面の穴は通気のために設けてあります。穴をふさいだり覆ったりしないでください。十分な空間がないとオーバーヒートの原因になります。本製品をビルトインで設置する場合は、適切な冷却装置を必ずご使用下さい。
長時間大音量で演奏すると、耳に負担がかかり、難聴になる危険があります。やむをえず必要な場合には、耳栓を使用するなどして、自衛手段を講じて下さい。



警告

この製品は水気のあるところでご使用にならないで下さい。
この製品を不安定な台車、スタンド、またはテーブルなどの上に置かないで下さい。製品が落下して故障の原因となることがあります。
付属の電源コード以外でご使用にならないで下さい。また、製品の裏面に表示してある電圧以外での使用は避けて下さい。



禁止

アンプの上にドリンクなど置かないで下さい。こぼれて故障や感電の原因になります。
絶対にご自分でカバーを開けて修理、改造等しないで下さい。製品の内部には高電圧の部分があり大変危険です。必ずお買上になった販売店までお問い合わせ下さい。
下記の場合、ただちに電源を抜き、必ず修理又は点検に出してください。
＊電源コードまたはプラグが破損した場合。
＊製品の上に液体がかかった場合。
＊製品に水や雨がかかった場合。
＊説明書通り操作しているにもかかわらず正常に作動しない場合。
＊製品が落下した場合やキャビネットが破損した場合。
＊音質等性能が著しく変化した場合。



ヒューズを交換する際は、必ず同じ規格の物を使用して下さい。異なった規格の物を使用すると、発火や故障の原因になります。
ストーブ等の火気の近くには設置しないで下さい。



発火や感電を防ぐため、湿度の高いところや雨のあたるところではご使用にならないで下さい。キャビネットの隙間などから異物を入れたりしないで下さい。
内部には専門家以外の方で修理できる箇所はございませんので、異常が発生した場合はお買上になった販売店にご連絡下さい。

Markbass / DV Mark 日本総代理店：パール楽器製造 (株)
〒276-0034 千葉県八千代市八千代台西10-2-1

改良のため予告なく仕様の一部を変更することがありますので、
予めご了承下さい。
2024年7月現在 AM20250709

●製品に関するお問合せ
パール楽器製造 (株) テクニカルサポート
TEL 047-450-1090

Little Mark 58R CASA



取扱説明書



1. FRONT PANEL



1. LINE OUT XLR

2. GROUND LIFT CONTROL SWITCH

LINE OUT の XLR 端子の出力信号にハムノイズが乗る事がありますが、その原因の多くは、電源のグラウンドに起因しています。その際には、このグラウンド・リフト・スイッチを切り替える事によりハムノイズを除去することができます。

3. PRE/POST EQUALIZATION CONTROL SWITCH

このバランスド XLR ラインアウトは、ライブやスタジオにおいて、バランス信号をミキシング・コンソールなどに送り出すことができます。このラインアウトのシグナルは、プリ / ポスト・イコライザー・コントロール・スイッチによって、プリ EQ (EQ のセッティングが効いていない) または、ポスト EQ (EQ のセッティングが効いている) を選択することができます。

4. UNBALANCED 1/4” JACK INPUT
5. GAIN LEVEL KNOB

6. ULTRALOW EQUALIZATION CONTROL KNOB

7. LOW EQUALIZATION CONTROL KNOB

8. MID EQUALIZATION CONTROL KNOB

9. MID HIGH EQUALIZATION CONTROL KNOB

10. HIGH EQUALIZATION CONTROL KNOB

11. BASS EQUALIZATION CONTROL KNOB

12. TREBLE EQUALIZATION CONTROL KNOB

13. LINE OUT LEVEL CONTROL KNOB

14. MASTER VOLUME LEVEL KNOB

15. MAIN ON/OFF SWITCH

2. REAR PANEL



1. AC POWER SOCKET
2. COOLING SYSTEM FAN
- 3-4. SPEAKER OUTS 1/4” JACK
5. SPEAKER OUT SPEAKON

3. TECHNICAL DETAILS

INPUTS

INPUT Impedance 500 Kohm/ Maximum Voltage 9 Vpp

CONTROLS

CONTROLS

GAIN: -46 to 23dB range

MASTER VOLUME

DI LINE OUT LEVEL

GROUND LIFT (switch on front panel)

PRE/POST EQ (switch on front panel)

OUTPUTS

LINE OUT/DI: balanced XLR - Maximum voltage 20 Vpp

SPEAKER OUT: one speakon + two 1/4” jack

(スピーカー出力は並列接続されており、アンプに対する最低許容インピーダンスは4Ωです。)

POWER REQUIREMENT: 100V - 50/60Hz

注意：工場出荷時に使用される国のボルテージに設定されています。機器認証の関係で、電源電圧の変更はできません。改造によるボルテージの変更はおやめください。

FUSE

10 A 250VT 5X20

EQUALIZATION

ULTRALOW: center frequency 65 Hz; level ±16 dB

LOW: center frequency 180 Hz; level ±16 dB

MID: center frequency 500 Hz; level ±16 dB

MID HIGH: center frequency 1.4 KHz; level ±16 dB

HIGH: center frequency 3.8 KHz; level ±16 dB

BASS: frequency 100Hz (shelving); level ±16 dB

TREBLE: frequency 10 KHz (shelving); level ±16 dB

OTHERS

HEIGHT 2 rack units (81 mm)

WIDTH 27.6 cm

DEPTH 25.8 cm

WEIGHT 2 kg

OUTPUT POWER

500W RMS @ 4 ohm, 300W RMS @ 8 ohm

4. TROUBLESHOOTING TIPS

【高温の保護】

症状：アンプが熱くなり、電源が切れます。

考えられる原因：換気が不十分であるか、冷却システムのファンが故障しているために、アンプが過熱しています。アンプが安全なレベルまで冷えると、アンプは自動的に再起動します。

提案：ファンが正常に動作していること、および冷却システムのポートが遮られていないことを確認して下さい。

【スピーカー接続の保護】

症状：アンプはオンになりますが、スピーカーから音が出ません。

考えられる原因：低インピーダンスにより負荷(マークベースアンプの最小インピーダンスは4オームです。)、またはスピーカーケーブルの不良。

提案：アンプに接続されているスピーカーのインピーダンスを確認してください。

2つの4オームキャビネット、または8オームと4オームのキャビネットの組み合わせはご注意ください。インピーダンスが4オーム未満になります。

スピーカーケーブルを確認してください。

この2つを確認した後、アンプの電源を切り、再度電源を入れてください。

5. DIAGRAM

